

ムーンショット型研究開発制度に係る 制度の点検・見直しの進め方について

ムーンショット（MS）制度点検・見直しについて（案）

考え方

昨年10月以降のCSTI有識者議員懇談会（木曜会合）及び戦略推進会議における有識者議員からの指摘や、CSTI本会議における目標4・5の継続を決定に係る付帯事項を踏まえ、目標達成に向けた令和7年度以降の後半5年間の制度点検・見直しを実施。

議論の進め方

○8月29日（木）第13回MS戦略推進会議（懇談会）

- 議題案：1. 戦略推進会議の進め方等について
2. MS制度の点検・見直しの進め方について（指摘事項等の整理）
3. 目標7における研究開発の進め方について（非公開）

有識者議員の指摘事項、
付帯事項を整理

○10月15日（火）第14回MS推進戦略会議（懇談会）

- 議題案：1. 戦略推進会議の進め方等について
2. MS制度の点検・見直しについて
（1）国際制度比較及び国際標準化に係る報告
（2）見直しに向けた主な論点と方向性
3. 目標10における研究開発の進め方について（非公開）

・点検・見直しの一環として、
国際情勢の報告
・見直し等に係る対応案の提示

○12月6日（金）第15回MS推進戦略会議（懇談会）

- 議題案：1. 目標4・5の外部評価報告、及び付帯事項の進捗状況報告
2. MS制度の点検・見直しについて（方向性の取りまとめ）

運用・評価指針改定
案(骨子)を提示



各省協議を経て財務省協議を実施し、年度内に運用・評価指針を一部改定。

CSTI 5年目評価実施要領のポイント

CSTI有識者懇談会における議員のコメント等を踏まえ、ムーンショット（MS）型研究開発制度のCSTI 5年目評価の視点を明確化を図るため、実施要領を策定（令和6年2月）

【評価の視点】

○ MS目標に対する進捗状況

2030ターゲットに向けた進捗状況を個々のプロジェクトの進捗ではなく、MS目標を達成するための進捗及び課題の把握と理解の状況について評価する。

○ 今後のMS目標の達成の見通し

後半5年を含め目標達成に向けたシナリオを点検した上で課題等の整理状況とそれらの対応方針について評価する。

【報告時の留意点】

- ・ 進捗状況や達成の見通しを報告する上で必要な2030ターゲットの明確化・詳細化
 - ・ 2030ターゲットと各プロジェクトとの関係整理、課題や不足する技術等に対応するためのターゲットやポートフォリオの見直しの方向性
 - ・ プログラム終了後の社会実装に向けた取組の方向性
 - ・ 国際的ベンチマーク等による国内外問わずトップレベルの研究開発としての位置づけ整理
 - ・ 世界中からの英知の結集や失敗を恐れず挑戦的な研究などMS制度の基本的な考え方における特徴を踏まえた取組についての状況や課題
 - ・ PDとしてのマネジメント方針
- などの考え方を含めて報告する。

- CSTI（第73回）でMS型研究開発制度の**目標4及び5**に対する進捗状況等の評価を実施。目標4及び5については、**後半5年も「継続」が決定**（令和6年6月3日）。
- 継続に当たり、付帯事項に関係府省、研究推進法人一体となって、引き続き取り組むこと。また、今年度内にMS型研究開発制度に係る戦略推進会議に付帯事項に係る進捗を報告する。

【目標4の付帯事項】

- 国際情勢や技術動向を整理し、挑戦的な研究開発を含め、機動的なポートフォリオの見直し
- 若手研究者がプロジェクトに参加できる環境の構築および人材育成の推進
- 他制度や各戦略との連携や役割を明確化
- 国際的な標準化や規制について、日本の立ち位置の明確化と米国、欧州などとの連携
- 企業の関与を高めるに当たって、企業参加の割合増に向けた取組を促進

【目標5の付帯事項】

- 国際情勢や技術動向を整理し、挑戦的な研究開発を含め、機動的なポートフォリオの見直し
- 若手研究者がプロジェクトに参加できる環境の構築および人材育成の推進
- 他制度や各戦略との連携や役割を明確化
- 知財・標準化戦略（オープンクローズ戦略）の策定
- 社会変容につながる取組や社会受容性の向上に向け、各種イベント活用など、消費者や生産者との対話促進